

事例⑤－1

リスク評価表

定常	非定常	緊急	ページ
○			(1 /)

OSH 管理責任者	部門長	部署長
印	印	印

ライン(工程)名：みがき板ガラス製造工程

リスク評価者：（7名）

リスク評価 年月日： 年 月 日

No.	作業・工程名 設備名称	危険作業項目	頻度 回／	時間 分/回	リスクの内容 ハザードの洗い出し及び予想されるけが	けがの大きさ	けがの 度合	けがの可能性			対策前 レベル	リスク対策内容	けが 度合	けが 度合	対策後 レベル		
								ハード	ソフト	度合							
1	一連タンク	#1～#4 タンク水洗い作業	1／週	90／回	タンク上部での水洗い時、タンク内へ 転落する。	全身骨折 ・死亡	I	c	h	b	s	c	13 (12+1)	K Y、指差呼称の実施、教育訓練	I	c	11 (12-1)
														特設歩廊を作る	III	c	6
					カス取り作業時、タンク上部からカス が落ち体にあたる。	手、腕の 切創、骨折	III	b	h	b	s	b	10 (9+1)	治具を使用する。転落可能性のあるカス の有無を確認する	III	b	9
					水洗い後、床が滑り易いので、転倒	足腰の打撲 、切創	III	c	h	a	s	b	9	K Y、指差呼称の実施、教育訓練	III	c	6
		#5～#8 タンク水洗い作業	1／月	150/回	堰の水洗い作業時、タンク内へ 転落する。	全身打撲、 骨折・死亡	I	c	h	b	s	c	13 (12+1)	K Y、指差呼称の実施、教育訓練	I	c	11 (12-1)
					タンク上部での水洗い時、タンク内へ 転落する。	全身骨折 ・死亡	I	c	h	b	s	c	13 (12+1)	K Y、指差呼称の実施、教育訓練	I	c	11 (12-1)
														特設歩廊を作る	III	c	6
					カス取り作業時、タンク上部から カスが落ち体にあたる。	手・腕の 切創、骨折	III	b	h	b	s	b	10 (9+1)	K Y、指差呼称の実施、教育訓練	I	c	11 (12-1)
														掃除専用具を使用する	III	c	6
					水洗い後、床が滑り易いので、転倒	足腰の打撲 、切創	III	c	h	a	s	b	9	K Y、指差呼称の実施、教育訓練	III	c	6
		スラリーポンプ運転作業	1／月	20／回	ピット内階段昇降時、踏み外す	足腰の打撲 、骨折	III	c	h	c	s	c	6	K Y、指差呼称の実施	IV	d	1
					サクシヨンバルブ開閉時、力が 抜け踏台から転落	手、足の 打撲、捻挫	III	c	h	c	s	c	6	治具を使用する	IV	d	1
水中ポンプの設置	1／週	5／回	ポンプ移動時、床で躓いて転倒する	足の捻挫	III	c	h	c	s	c	6	K Y、指差呼称の実施	III	d	3		
			移動チェーンが外れ、手直し時 ピット内へ転倒、転落	足の捻挫 、打撲	III	c	h	c	s	c	6	電動式に改造する	III	d	3		

必ずしも記入しなくても良い

リスク管理記録

平成 年度

部署名：

(重大) リスク及び対応策

			承認	作成者
			印	印
作業名及び リスク内容	一連タンク掃除 ・ #1～#8 タンク上部での水洗い時、タンク内に 転落する。	けがの 大きさ	けがの 可能性	レベル
		I	c	1 3
対応策	・ 特設歩廊の設置 ・ K Y、指差呼称の実施および教育訓練の実施	けがの 大きさ	けがの 可能性	レベル
		III	c	6

実施記録

月日	実施内容	けがの 大きさ	けがの 可能性	レベル	承認	作成者
H12						
/	・ 作業手順書見直し、改訂	II	c	1 0	印	印
	タンク上部からの水洗い注意					
	タンク下部の人と声を掛けあう。					
/	・ 工事開始				印	印
/	・ タンク上部歩廊増設完了（外注）	III	c	6	印	印
	掃除中の転落がなくなる。					
	参考写真：事例⑤－3 一連タンク上部、タンク内掃除等での転落防止安全柵付きの歩廊増設。					